

仮想クラウド (IaaS) への移行、BCP対策

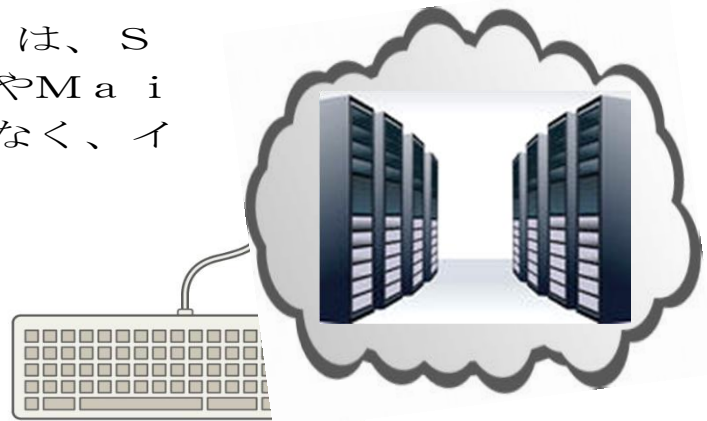
ニフティクラウドでの仮想システム構築

仮想クラウド (IaaS) は、SaaSとは違いWebやMailのサービス利用ではなく、インターネット経由でのサーバそのもののレンタルです。

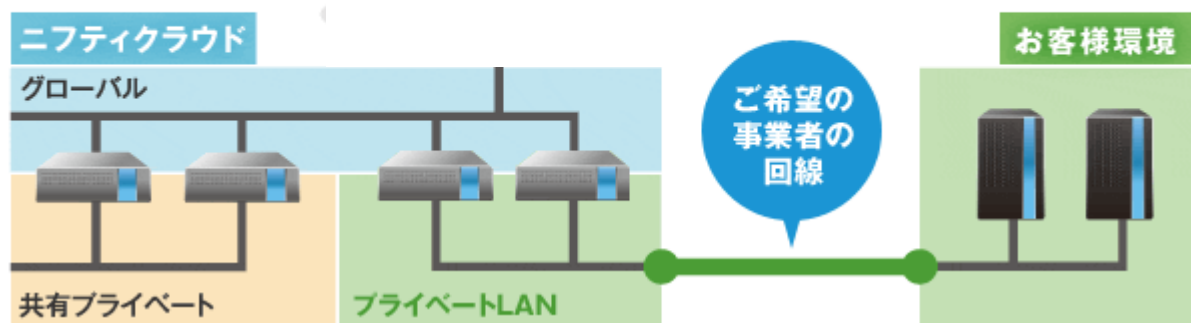
このレンタルしたサーバに、VMwareの利用同様に、仮想マシンと呼ばれる環境を用意します。

VMwareの利用との大きな違いは、物理的な故障への対応が不要になります。仮想クラウド提供者では、故障に対しての交換部品を用意しており、交換部品の到着待ちの無駄時間が発生せず、ハードウェア故障による停止が無いことが特長です。

また、CPUの性能変更やストレージの拡張などは、料金変更の手続きだけの短時間で行え、かつフレキシブルな対応が出来ます。



社内LANとクラウド・ネットワークの接続



インターネット経由でのサーバですので、セキュリティを確保したネットワーク接続が必要です。

通信を暗号化して、他者からの覗き見や不正な接続から守ります。

そのために、社内の端末と仮想クラウドとの間をVPNを使った安全な通信ネットワークで構築します。

なお、社内の端末からは、自社内サーバ設置の時と手順の変更なしで、スムーズに接続することが出来ます。

P 2 V 現行サーバ移行



現在の物理的なサーバ上に構築された環境を、仮想クラウド（IaaS）サーバ上の仮想マシンに丸ごと移し替えます。

これにより、OSの設定やインストールされたアプリケーションも、そのまま移行されます。

アプリケーションのインストールや環境設定も不要です。